

「水際作戦」を助長

生活保護法改悪案参考人が指摘

田村議員が質問

参院厚生労働委員会
は21日、生活保護法改
悪案と生活困窮者自立
支援法案の参考人質疑
を行いました。

NPO法人ほっとプ
ラスの藤田孝典代表理
事は、保護開始の要件
でもない申請書の提出
を窓口で強要し、口頭
申請を受理しない「水
際作戦」が多発してい
る現状を指摘。申請書
提出を義務付けた改悪

案で「水際作戦が助長
される」とのべまし
た。

北海道・釧路市福祉
部生活福祉事務所の佐
藤茂生活支援主幹は、
母子家庭や高校卒業生
など多様な自立支援プ
ログラムを紹介。押し
付けではなく意欲や能
力を生かす自立支援策
の重要性を強調しまし
た。

日本共産党の田村智
子議員は、改悪案が申
請書の提出を義務づけ
記載事項を厳格化する

ことが窓口申請へ及ぼ
す影響をたずね、藤田
氏は「就労指導最優先
の窓口対応が増える。
申請者が追いこまれ自
殺者が多発する危機感
をもっている。法案を
見直してほしい」との
べました。

田村氏は、生活困窮
者自立支援法案によっ
て、生活保護による支
援ではなく本人の意向
に反した「就労」が押
し付けられる危険性を
指摘。藤田氏は「本
来、生活保護が必要
な人が利用できなく
なることがあっては
ならない」とのべま
した。